

World Para Athletics 公認

2022 ジャパンパラ陸上競技大会 開催要項

【新型コロナウイルス感染症の対応策について】

大会開催に向けて十分な注意を払い準備を進めるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、競技会の開催が中止になる場合があるので、大会ホームページで最新の情報を入手すること。

大会については、有観客での開催にて準備を進める。来場方法の詳細については追って決定し、ジャパンパラ陸上競技大会ホームページにて発表する。

なお、大会運営は日本パラ陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンス」に準拠し行う。ガイダンス最新版は、日本パラ陸上競技連盟ホームページに掲載しているため、大会参加者は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでの参加をお願いします。また、今後、ガイダンスの更新により、開催要項を変更する可能性がある。

- 1 目的 国際競技規則を適用したレベルの高い競技会を、競技団体と共に開催することによって、パラスポーツの認知度を上げ、障がい者の広い社会参加を促進すること、並びに日本における陸上競技の競技力向上を通じて、同競技の普及拡大を図ることを目指し、活力ある共生社会の創造に繋げていくことを目的とする。
- 2 主催 公益財団法人日本パラスポーツ協会
- 3 共催 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟
一般社団法人日本デフ陸上競技協会
- 4 主管 一般財団法人京都陸上競技協会
- 5 後援 スポーツ庁 京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会
(予定) 公益財団法人京都市障害者スポーツ協会 一般社団法人京都障害者スポーツ振興会
公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本陸上競技連盟
一般財団法人全日本ろうあ連盟 特定非営利活動法人日本ブラインドマラソン協会 全国聾学校体育連盟
- 6 JPSA オフィシャルパートナー
日本航空株式会社、JA共済連、TANAKA ホールディングス株式会社、東京ガス株式会社、中外製薬株式会社、三菱商事株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、三菱電機株式会社、サントリーホールディングス株式会社、大同生命保険株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社モリサワ、トヨタ自動車株式会社、株式会社ゴールドウイン、東京建物株式会社、清水建設株式会社、東京ガス協力企業会、全日本空輸株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、野村不動産ホールディングス株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ、三菱ケミカル株式会社、株式会社日清製粉グループ本社、イオン株式会社
パナソニック株式会社、富士通株式会社、日本電信電話株式会社、電源開発株式会社、三菱地所株式会社
株式会社関電工
- 7 JPSA オフィシャルサポーター
トラスコ中山株式会社、西農シエンカー株式会社、カリフォルニア・レーズン協会、日野薬品株式会社、株式会社富士住建、株式会社グロリアツアーズ、株式会社JTB、大塚製薬株式会社、株式会社福祉施設共済会、株式会社ティーガイア、住友金属鉱山株式会社

8 競技運営システム協力 マット株式会社

9 協 力 一般社団法人京都障害者スポーツ振興会

10 期 日 2022年5月13日(金) 公式練習:13時00分~16時00分
2022年5月14日(土) 競技開始:10時00分(17時終了予定)
2022年5月15日(日) 競技開始:10時00分(17時終了予定)
(受付時間:13日(金) 12時30分~16時30分、14日(土)・15日(日)8時00分~)

11 会 場 たけびしスタジアム京都
〒615-0864 京都府京都市右京区西京極新明町29
受付場所:西京極総合運動公園 補助競技場 入り口

12 実施種目 別紙「実施種目一覧表」による。
5月14日(土) 100m / 400m / 1500m / 10000m / 走幅跳(T11-13、T20) / 走高跳 / 円盤投(立位) / やり投(立位) / 砲丸投(座位) / 4×100mエバ-カッパ / 4×100mリレー
※オープン競技として「フレームランニング(ペトラ)100m」を実施する。
5月15日(日) 200m / 800m / 5000m / 走幅跳(T11-13、T20以外) / 三段跳 / 円盤投(座位) / やり投(座位) / こん棒投 / 砲丸投(立位)
※トラック種目ではエントリー数により予選を実施する場合は、競技運営上、予選ラウンドと決勝ラウンドの時間が短くなる場合がある。また、複数種目に出場する場合は、競技時間が重なる場合もある。

13 参加資格・制限

次の(1)~(3)に示す条件すべてを満たしている者、または(4)に該当する者

- (1) 身体障害者手帳または療育手帳を所持している者。
- (2) 下記団体のいずれかに、2022年度登記・登録予定の者。
「日本パラ陸上競技連盟」「日本知的障がい者陸上競技連盟」「日本デフ陸上競技協会」
「全日本ろうあ連盟」「全国聾学校体育協会」「日本ブラインドマラソン協会」
- (3) 下記の競技会において別紙「標準記録一覧表」に示す記録に達している者
(出場種目は標準記録に達している種目に限る)。
 - ①2020年度 第31日本パラ陸上競技選手権大会 第25関東パラ陸上競技選手権大会
第17回日本デフ陸上競技選手権大会 その他WPA公認・エンドース大会
 - ②2021年度 2021ジャパンパラ陸上競技大会 第32回日本パラ陸上競技選手権大会
2021WPA公認日本ID陸上競技選手権大会 第18回日本デフ陸上競技選手権大会
その他WPA公認・エンドース大会
 - ③2020年4月1日~2022年3月27日までの日本陸上競技連盟公認大会(主催陸上競技協会発行の記録証の写しを添付すること)
- (4) (2)の登録団体より推薦があり、主催者が認めた海外NPCもしくはNF登録者。
- (5) T20について
 - i) ターゲットナンバー(出場者数の上限)を設け、ターゲットナンバーを超えた種目については、上記の競技会①②③において、別紙「標準記録一覧表」に示す記録に達している、記録上位の競技者から出場資格を与える。また、最終枠が同記録の場合は直近の大会が優先される。なお、スタートリスト発表後欠場者が出ても補充は行わない。
 - ii) T20の5000m、10000mには制限タイムを設ける。最終周回に入るタイムがそれぞれ、5000mは男子16:00.00、女子20:00.00、10000mは男女ともに35:00.00を超えた場合。また、競技中に制限タイム

を超えた場合でも、審判により競技を中断することがある。どちらも途中棄権として扱う。この種目にエントリーする選手は、上記内容を理解してエントリーすること。

- 14 競技規則** 競技会開催時における最新のWorld Para Athletics(WPA) 競技規則及びWA競技規則(パラリンピック種目以外)、並びに本大会申合わせ事項により実施する。
※注)参加の拒否・棄権についてはWPA 競技規則 5条 4/WA 競技規則 TR4条の通りとする。
やむを得ず欠場する場合には欠場届をTICに提出する。未提出の者は以降の種目への出場をみとめないことがある(TDの判断による)。
- ・ユニフォームのロゴをはじめ広告商標については、WPAまたはWAの広告規程のいずれかに合致していれば可とする。
 - ・靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められない。

- 15 参加料** 個人種目については1人1種目につき2,000円とする。
リレーについては1チーム3,000円とする(リレーは個人種目にエントリーしている選手で申込むこと)。
振込者名は、『リクジョウ+選手本人名』とし、多数の選手分を振込む場合等は、その旨を申込書に記載すること。
また、振込明細は大会当日の受付時に持参すること。入金確認ができない場合提示を求めることがある。

※ 正式な大会参加者(エントリーリスト)については、申込締切後、資格審査を行った上で、ターゲットナンバーを上限(T20のみ)に確定とし、4月15日(金)以降に日本パラスポーツ協会(2022ジャパンパラ)HPに掲載する。

※ 参加料は、4月15日(金)以降のエントリーリスト発表後、出場が確定した選手のみ、必ず4月18日(月)~28日(木)の期間に振込みをすること。振込先は決定通知書に記載する。

16 申込方法

別添「申込書」、「誓約書」に必要事項を記載のうえ、一緒に添えて申し込むこと。

(1) 申込締切日 2022年3月28日(月)必着(参加決定通知 4月15日頃発送予定)

(2) 下記のいずれかの方法で申し込むこと

i. WEBフォームによるエントリー

申込サイト(<https://www.jaaf.net/para/2022/2022jpc/index.html>)内のWEBエントリーフォームから必要事項を記入の上送信する。

ii. 申込書の送信(Excelファイル)

申込サイト(<https://www.jaaf.net/para/2022/2022jpc/index.html>)より申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、以下のアドレスに申込書を添付してメールを送信する。

アドレス:2022jpc-entry@jaaf.net

※ExcelファイルはPDF等に加工せずそのまま送信する。

iii. 郵送によるエントリー

申込サイト(<https://www.jaaf.net/para/2022/2022jpc/index.html>)より申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上以下の住所まで郵送する。

■送付先

〒102-0071

東京都千代田区富士見1-11-12 アーバンコート1F

マット株式会社 2022ジャパンパラ申込係

iv. 申込完了メールの送信(上記 i. ii の申込方法のみ)

i. ii の方法で申込を行うと、直ちに受信を知らせる返信メールを送信する
(但し同じアドレスには1回のみ)

v. 申込についての問い合わせ

以下のアドレスに問い合わせる。こちらのアドレスでは申込の有無、修正等(所属名を含む申込内容全般の修正等は申込期間内に限る)についての問い合わせ窓口のため競技関係や宿泊等については22. その他の(15)の問い合わせ先に送信する。

2022jpc-info@jaaf.net

vi. 誓約書について 誓約書をご確認ご署名いただき以下の宛先に原本もしくは PDF 形式で送付する。

PDF での提出先:2022jpc-entry@jaaf.net

郵送での提出先

住所: 〒102-0071

東京都千代田区富士見1-11-12 アーバンコート1F

マット株式会社 2022ジャパンパラ申込係

vii. 振込明細について 大会当日の受付時に持参する事。入金確認ができない場合提示を求めることがある。

※参加料金は必ず4月18日(月)~28日(木)の期間に納入すること。締切日以降の申込みは、一切受け付けない。また、一旦納入された参加料金は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、参加資格に満たない場合も含め、原則として返金しない。

※「申込書」「誓約書」など必要書類が提出されていない場合や必要事項に記載がない場合、また、出場資格・制限などに該当しない場合は出場不可とする。

※出場の可否は、その通知を資格審査終了後に順次発送する。

17 クラス分け

本大会では肢体障がい、視覚障がいの国内クラス分けを実施する。

WPA国際クラス分け、及びJPA国内クラス分けを受けた事のない選手、及び国内クラス分けステータスReviewの選手で、本連盟クラス分け委員会から事前に指示された選手は、国内クラス分けを受けなくてはならない。自身の競技クラスならびにクラスステータスの確認が必要な場合は、下記JPAクラス分け委員会のメールアドレス宛に氏名、年齢を記入の上で問い合わせる事。

肢体障がい、視覚障がいのそれぞれの実施日、時間は以下の通りとする。

<肢体障がい> 5月13日(金) 9時00分(予定)~ 身体機能評価・技術評価

5月14日(土)~15日(日) 競技観察

<視覚障がい> 5月13日(金) 9時00分(予定)~

対象となる選手には、申込締切後2週間以内に実施会場等の詳細を別途通知する。

国内クラス分けの実施方法ならびに準備物等については、JPAホームページのクラス分け委員会のページにて確認すること。

「[JPAクラス分け診断書](#)」、「[JPAクラス分け自己申告書](#)」等は、JPAホームページ内のクラス分け委員会のページ(<https://jaafd.org/>)からダウンロード可能。

クラス分けに関する問い合わせについては、22その他(5)の連絡先とする。

18 ドーピング検査 (以下、JADA からの注意喚起文による)

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、

親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい。

19 表彰

男女別種目別スポーツクラス別に1位、2位、3位の選手にメダルを授与する。但し、エントリーが2名までの場合は1位のみ、3名までの場合は2位までメダルを授与する。オープン種目には、メダルは授与しない。

競技中の観察でクラスに変更があった場合は、すべて参考記録とし、順位及び表彰の対象から除外する。

20 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

21 傷害保険への加入について

主催者において期間中(2022年5月13日~5月15日)の傷害保険に一括加入する(保険内容:死亡・後遺障害1,000万円、入院5,000円、通院3,000円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。大会では、応急処置しかできないので、参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

22 その他

- (1)本大会は、World Para Athletics公認大会として実施する。
- (2)IPCライセンス登録及び国際クラス分けステイタスがCまたはRの選手の記録はWorld Para Athletics公認記録となる。ただし、すべての選手を対象に、日本記録は公認される。なお、全員に記録証を発行する。大会終了後、引き取りがなかった記録証については主催者で処分するので、必ず持ち帰ること。後日郵送は行わない。
- (3)T/F11クラスの競技者は、必ずガイドランナー、アシスタント(コーラー、エスコート)を申込み用紙に明記すること。T/F12、T31-32、F31-33、F51-F54、クラスの競技者は、必要に応じてガイドランナー、アシスタント(コーラー、エスコート)を申込み用紙に明記すること。
なお、当日のガイドランナーの変更については、**招集完了時刻の1時間前までに**変更届けを提出すること。変更届けは日本パラ陸上競技連盟オフィシャルサイトに掲載する。
- (4)選手1人につき、コーチ(又は生活支援者、又はトレーナー等)1名まで登録することができる。コーチ(又は生活支援者、又はトレーナー等)は選手と一緒に受付し、アクレディテーションカードを受け取る。ガイドランナーとアシスタントには、それぞれアクレディテーションカードを渡す。本大会はコロナ禍の大会であるため、会場内の混雑を避けるため入場者の人数管理を厳しく設定しているため前述の設定とする。
- (5)本大会は、World Para Athletics公認大会であるので、WPA競技規則 17条 8/WA競技規則 TR16条8のとおり、**1回目の不正スタートで失格**となることを充分理解しておくこと。

(6)本大会の成績は、国際大会派遣等に伴う選手の推薦資料の一部とする。

(7)競技会場での練習は下記の通りとする。

5月13日(金) ・前日受付 12時30分～ (たけびしスタジアム京都)
・たけびしスタジアム京都(メイン競技場)
：トラック(車いす)、走幅跳、三段跳、走高跳、砲丸(立位)、円盤投(立位)
・補助競技場：トラック(立位)、走幅跳、やり投(立位)
・練習時間帯 13時00分～16時30分 17時閉門
※座位投てきの前日練習は、メイン、補助ともに不可

5月14日(土)・15日(日)

・たけびしスタジアム京都(メイン競技場)：練習での使用不可
補助競技場：トラック、跳躍 ※投てきは不可。試技前に練習試技を保証
・時間については、競技注意事項へ記載

※その他、競技場使用については、クラス分け実施もあるので係員の指示に従うこと。

- (8) フィールド競技(走高跳と座位投てき種目を除く)で8人を超える競技者が競技を行う場合には各競技者は3回の試技が許される。その中で上位の有効な成績を得た競技者8人には、さらに3回の試技が許される。競技者が8人以下の場合には、各競技者に6回の試技が許される。
- (9) 競技に必要な用具および道具は各自で用意すること(競技場にある投てき物を除く)。主催者は一切用意しない。
(例:アイマスク、アイパッチ、テザー、義手、義足、スタート時に使用するパッド、競技用車いす(レーサー)、投てき台)
- i) 新型コロナウイルス感染予防の観点から、ガイド等のビブスは各自で用意し着用すること。ビブスは召集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能とする。ビブスの用意ができない者へは販売する。
 - ii) 投てき競技に参加する競技者で炭酸マグネシウムなどの滑り止めが必要な場合は、各自で用意すること。
- (10) 競技者の衣類・レーサー等競技用具(ロゴ)について(詳細は別紙参照のこと)
WPAまたはWA広告規程に準ずる(チーム名については、規程内の「国名」を適用する)。
車いすレーサー等競技用具に関しては前輪を含むフレームと後輪に各1ロゴのみ、その他、義足等についてもWPA広告規定に準ずる。上記規程を逸脱した場合は規程違反となる。十分に注意すること。
- (11) 大会当日の昼食は各自で用意すること。
- (12) 宿泊を要する且つ、旅行業者を使用する場合は下記宿泊関係担当の株式会社JTＢへ各自で問い合わせを行なうこと。なお、別紙「宿泊・交通の申込みのご案内」を確認すること
- (13) 駐車場の使用は車いす選手のみといたします。希望の方は申込書に記入すること。公園内の駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
- (14) 荷物を送る場合は、**5月13日(金)**のみを指定日とする。指定日以外に到着した荷物については、一切受け付けない。(輸送に関するお知らせは、参加決定通知書に同封する。)

送り先:たけびしスタジアム京都 (時間指定:9時～16時)

〒615-0864 京都府京都市右京区西京極新明町29 京都市スポーツ協会 Tel:075-315-4561

※荷物の受け渡し及び預かり場所は、競技会場総合受付とする。

※原則的に、各自の荷物は自己責任において管理すること。到着した荷物については、一時的に保管するが故障・破損等については一切責任を負わない。

※未到着の荷物確認等は、各自が依頼した宅配業者と連絡を取ること。

※荷物の返送等については、各自で手配し手続きを行うこと。

※大会終了後の荷物の預かりはできない。

(15) 問い合わせは下記とする。タイトルは「2022JP陸上競技大会(問い合わせ内容)」とすること。

①競技関係 (各自登録している団体へ問い合わせること)

日本パラ陸上競技連盟 事務局アドレス japan-jimukyoku1@jaafd.org

(担当:吉村、工藤)

日本知的障がい者陸上競技連盟 事務局アドレス jidaf.ent.adm@gmail.com (担当:浅野)

日本デフ陸上競技協会 事務局アドレス office@j-daa.or.jp (担当:山岸)

日本ブラインドマラソン協会 事務局アドレス info@jbma.or.jp (担当:木之下)

②クラス分け関係 JPA クラス分け委員会 jpa.classification@gmail.com (担当:池部)

③宿泊関係 株式会社JTB 電話:03-5909-8090 または t_kageyama036@jtb.com

(担当:影山・北野・佐々木)

④その他 日本パラスポーツ協会 事務局アドレス jpsa-kikaku@parasports.or.jp (担当:小塩)

(16) 変更がある場合は以下のホームページで公表するので、各自確認すること。

<https://www.parasports.or.jp/japanpara/athletics/>

本大会の開催要項等は、日本パラスポーツ協会ホームページからダウンロードすることができます。